

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 名古屋市立笹島小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒450-0002
名古屋市中村区名駅四丁目19番1号

E-mail sasashima-e@nagoya-c.ed.jp

Website www.sasashima-j.nagoya-c.ed.jp/

児童生徒数 男子 70 名 女子 77 名 合計 144 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域学習・郷土学習)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【実践例1】3年「山車について調べよう」(地域学習について)

本校は、校内に学区の下花車二福神車の山車を保存しており、保存会の方を招き、からくり人形や山車の構造などを学んでいる。その際に、郷土芸能の保存や継承に携わる喜びや苦勞を聞かせてもらうことにより、200年以上引き継がれている山車や地域の祭りに込められた思いの深さを感じ取ったり、「もっと山車について知りたい」「地域のお祭りに参加してみたい」などと地域を愛する心を高めたりすることができた。

【実践例2】3・4年「世界の音楽めぐり」(国際理解教育について)

3・4年生では、エジプト、フィリピン、フランス、アメリカ合衆国出身の方を招き、計4回の交流会を行った。母国の文化と日本の文化との違いについて紹介してもらう中で、各国の学校生活と日本の学校生活との違いについて調べていきたいという課題をもたせることができた。そして、各国の学校生活について調べたことを基に、せりふやクイズを自分たちで考えて文化祭で発表した。また、発表に向けて、各国の衣装など、演出に使うアイデアを出すこともできた。

【実践例3】6年「わたしのまちのたからものを伝え合おう」(地域学習・国際理解教育について)

6年生では、地域学習や異文化理解の学習の経験を生かしながら、留学生と互いの郷土のよさを伝え合うプログラムを行った。1回目の交流会では、留学生を笹島小学校に招待し、校内を案内したり、母国について紹介してもらったりした。また、児童からは、自分がテーマにして追究したい地域の題材を紹介し、留学生がどんなことに興味があるか聞き取りをした。さらに、2回目の交流会では、大学に出かけて行き、構内を案内していただいたり、お互いの小学校生活について紹介し合ったりして、多くの児童が外国の人とふれあう楽しさを味わった。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()